

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 17-056

PDCA	事務事業名	地域介護・福祉空間整備等事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 介護保険担当	担当	鳥居	
					内線等	375	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第2節 地域福祉の推進					
		基本施策： 2. 高齢者福祉					
		単位施策： (4) 介護保険の充実					
	根拠法令等	半田市地域介護・福祉空間整備等補助金交付要綱					
	対象・目的	市内各地域のニーズに応じバランスのとれた地域密着型サービス施設の整備を推進するため、整備に係る建設工事費や整備施設の円滑な開設のための準備経費等に対し補助金を交付することで、ハード面から、要介護者が住み慣れた地域で安心して必要なサービスを受けられる環境を整える。					
	目的を達成するための手段・活動内容	愛知県の介護施設等整備事業補助金を活用し、公募等にて決定した地域密着型サービス事業所等の整備工事費に係る補助金を適正に交付する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①施設整備等補助金交付施設数		1	0	1	事業所
		②スプリンクラー等整備補助金交付施設数		0	0	0	事業所
		③公募等により選定した設置・運営事業者数		1	1	0	事業者
		事業費		43178	0	8910	千円
		人件費		3363	2998	1739	千円
		総事業費		46541	2998	10649	千円
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位
		①整備実施施設1事業所当りの事務費		1681500	0	1739000	円
		②選定した設置・運営事業者1事業者当りの事務費		1681500	2998000	0	円
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①第7期整備計画 施設整備数	実績値	1	0	1	施設
			目標値	1	1	1	
		②第7期整備計画 事業者選定数	実績値	1	1	0	施設
目標値			1	1	2		
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	D					
		平成30年度公募により決定した認知症対応型通所介護1施設の運営法人に対し、補助金の交付を行なった。 また、第7期の整備計画に基づき、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護及び(看護)小規模多機能型居宅介護の設置・運営事業者の公募を平成30年度に引き続き実施したが、不調となった。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		・施設整備等補助金について、令和2年度から新型コロナウイルス関連の新規事業が追加されたため、申請・交付を随時行う。 ・令和元年度に不調となった地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護及び(看護)小規模多機能型居宅介護の設置・運営事業者の公募を再度行う。また、公募が再度不調となった場合には、整備計画の変更も含めて公募内容の再検討を行う。 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び地域密着型通所介護サービスについては随時相談を受付ける。					
	令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①第7期整備計画 施設整備数		0	施設		
		②第7期整備計画 事業者選定数		2	施設		